予算に対する討論

平成23年度予算は、起立多数をもって原案可決されましたが、5名の議員が各会派を代表して、同予算に対する賛成討論、反対討論を行いました。その概要は次のとおりです。

新政海クラブ　賛成

一般会計予算と4特別会計予算について賛成します。

▽「確実な都市経営をつなぐ予算」として提案された当初予算は、戦略的視点に立ち編成したと市長が施政方針で述べられたとおりのもので高く評価します。▽（仮称）市民活動支援施設は、市民が安全・安心・元気に暮らせるまちづくりの拠点施設であり、耐震基準に満たない中央公民館と青少年会館を大規模リニューアルするものともいえます。さらに、高齢者の健康増進にも配慮した機能を盛り込む発想は称賛に値します。▽（仮称）海老名市食の創造館をはじめ中野多目的広場の整備、コミュニティセンターの大規模改修など速やかに着手し、早期完成に向け推進することを要望します。▽海老名駅駅間地区の自由通路整備、海老名駅西口地区、運動公園周辺地区および本郷門沢橋地区の良好な市街地形成に向けた事業は、将来の税源涵養（かんよう）やまちづくりの根幹を成すものであり、着実に推進することを要望します。▽保健・福祉・医療の充実、教育・文化の向上、生活環境の改善、産業振興など市民福祉の向上のために各種事業を推進することを期待します。

平成23年度　各会計別予算総括表　（金額の単位は千円）

会計名		平成23年度当初予算額	平成22年度当初予算額	比較	対前年度伸率
一般会計		37,608,000	36,830,000	778,000	2.1%
特別会計	国民健康保険事業	11,912,421	11,568,273	344,148	3.0%
	下水道事業	2,969,143	3,031,686	▲ 62,543	▲ 2.1%
	老人保健医療事業	－	2,271	▲ 2,271	皆減
	介護保険事業	5,265,577	4,814,531	451,046	9.4%
	後期高齢者医療事業	949,392	883,977	65,415	7.4%
	小計	21,096,533	20,300,738	795,795	3.9%
合計		58,704,533	57,130,738	1,573,795	2.8%

民主・みんな・無所属　賛成

一般会計予算と4特別会計予算について賛成します。

▽市政運営の大きな柱となる市税について、事業計画を達成するために市税収入は手違いないよう対応することを要望します。▽23年度は市政施行40年の節目の年です。40周年記念事業を計画していると思われるが、今定例会中に東北地方から関東地方にかけて甚大な被害をもたらした大地震で多数の方々が被災されました。被災地、被災者に配慮した記念事業とすることを要望します。▽海老名駅自由通路整備事業について、安全で快適な歩行空間を確保し、市民要望が強い屋根を設置していただきたい。▽西口地区道路整備事業について、上郷河原口線の整備は、県の事業である下今泉門沢橋線北伸整備よりも早期に着手することを要望します。▽通院・入院の医療費助成を中学校修了前まで拡大したことを高く評価します。▽待機児童解消策として中新田保育園の増改築や民間保育所に対する各種支援策を評価します。▽（仮称）市民活動支援施設の建設について、健康増進棟にプールを併設することで議論していますが、説明責任を果たしていただくことを要望します。

日本共産党　反対

下水道事業、介護保険事業の2特別会計予算に賛成し、一般会計予算と国民健康保険事業、後期高齢者医療事業の2特別会計予算に反対します。

▽中学校修了まで通院・入院の医療費助成を拡大したことは、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることができ、高く評価します。▽（仮称）市民活動支援施設について、健康増進のためとしても屋内温水プールを施設に設置することは、多額の建設費用に加え維持管理費が毎年発生するなど税金の無駄遣いといえます。青少年会館、中央公民館、市民活動サポートセンターの機能を集約した施設であるにもかかわらず会議室が現在より少ない設計となっているため将来不足することが懸念され、再検討が必要です。▽JR相模線社家駅周辺整備について、社家駅を南部の拠点としたいと説明するが、高齢者や障がい者に配慮したバリアーフリー化が優先です。▽国民健康保険事業について、財政調整基金の一部を取り崩し、1世帯当たり1万円の国保税引き下げを早期に実現すべきです。▽中学校給食推進事業について、弁当併用外注方式による給食を改め、自校方式に切りかえるべきです。

海政会　賛成

一般会計予算と4特別会計予算について賛成します。

▽市制施行40周年にあたる23年に「持続可能な都市経営」の理念のもと「確実な都市経営をつなぐ予算」と銘打った前年度比2・1%増の一般会計予算は、積極的に事業を展開する市長の施政方針どおりの予算で評価します。▽海老名インター開通に伴う関連道路網の整備をはじめとする海老名駅自由通路整備事業や土地区画整理事業などの大型ハード事業と子ども医療費助成事業や高齢者の特養入居待機解消などの福祉ソフト事業は任期8年目を迎える市長自身の高揚した強い思いを感じます。▽国からの交付金や補助金対象がどう変わるか先行きが不安定な状態でも、事業を遂行するために予算確保の情報収集に当たった努力がうかがわれます。▽未曾有の大震災に際し、復興に向けて心を一つに行動しようとしていることに力強さを感じます。▽一方で復興のための財源や資金をどうするか国政は素早く基本方針を示すべきです。▽年度途中でも大きな変更が予測される時は、素早く的確な対応に努め、市政に混乱をきたさないよう要望します。

公明党　賛成

一般会計予算と4特別会計予算について賛成します。

▽「確実な都市経営をつなぐ予算」の編成は、市税収入の落ち込みが続く中にあっても2年連続のプラス予算で市長の強い意思を明確に感じます。▽海老名駅自由通路整備駅間部事業や海老名駅西口地区土地区画整理事業、海老名インター関連道路整備事業の取り組みは、都市の骨格を築き上げる事業といえ評価します。▽子ども医療費助成事業について、中学3年生までの医療費が無料になること、23年4月から実施されることなど市長の英断と行政手腕を高く評価します。▽コミセン、文化会館、福祉会館などの大規模改修事業は、市民の利用機会が多いため、早期の事業完了を要望します。▽協働のまちづくり拠点の（仮称）市民活動支援施設について、市長が提案した健康増進棟の整備は着実に推進すべきと考えます。▽下水道事業特別会計について、長期的計画に基づき適正執行を要望します。▽魅力的な都市を目指す行政投資が、企業の設備投資につながって、にぎわいをもたらし、税収という効果を生み出します。今後も積極的な都市経営の推進を期待します。

請願・陳情の提出について

請願と陳情は、いつでも受け付けていますが、**5月16日（月）の午後5時15分までに**提出されますと、6月定例会で審査または議員配布されます。（それ以降の提出は、原則として次回定例会の取り扱いとなります。）

詳しくは議会事務局まで、お問い合わせください。

録音版のご案内

えびな市議会だより「録音版」を作成しています。

障がい者手帳（視覚）をお持ちでご希望の方は、市社会福祉協議会までお問い合わせください。

問 ☎(235)0220

政務調査費を公開します

市議会では23年7月から前年度分の政務調査費の収支報告書をホームページ上で公開する予定です。そこで、今回は政務調査費とは何かを説明します。

○政務調査費

政務調査費とは、地方自治法第100条第14項及び15項の規定に基づき市から議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、会派又は議員に対して交付される経費のことをいいます。

当市議会では、13年3月に制定された「海老名市議会政務調査費の交付に関する条例」に基づき交付され、市民の代表として住民意思の把握とともに、行政事務に関して調査研究し、議案の審査や政策立案に反映させています。

○交付額（月額）

所属議員一人につき1万8000円

○使途

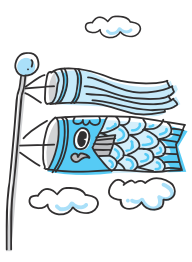
【研究研修費】研究会、研修会等に参加するために要する経費　例 負担金、会費、交通費、宿泊費など

【調査旅費】調査研究活動のために必要な先進地調査又は現地調査に要する経費　例 交通費、宿泊費、旅行傷害保険、視察に係わる入場料など

【資料作成費】調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費　例 印刷製本費（コピー代含む）、事務機器リース代、用紙・筆記用具代その他の事務用消耗品費など

【資料購入費】調査研究のために必要な図書、資料等の購入に要する経費　例 図書（書籍、ビデオ等及びその送料）購入費、新聞・雑誌購読料等、その他事務費用など

【広報費】調査研究活動、議会活動について住民に報告するために要する経費　例 広報紙・報告書等作成代、郵便料、用紙・筆記用具代等その他事務用消耗品費、会場使用料など

【広聴費】住民から市政及び会派の政策等に対する要望、意見を吸収するための会議等に要する経費　例 会場使用料、会場での茶菓子代、資料・アンケート票印刷代など

【事務費】調査研究活動のために必要な事務遂行に要する経費　例 通信料、郵便料、事務用消耗品代、リース代、事務機器購入代など